

令和6年8月21日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時

(1) 期日 令和6年8月21日(水)

(2) 開会 午前9時58分

(3) 散会 午後0時1分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原慎一委員長、白石純一副委員長、高崎良二委員、
大野雅子委員、川畑二美委員、竹原信一委員

5 事務局職員

議事係主任 松林俊介

6 会議に付した事件

(1) 議会だより226号について

(2) 議員と語る会について

(3) 議会広報研修会について

(4) その他

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、議会だより226号について、議員と語る会、広報研修会の3件について協議いたします。

○ 議会だより226号について

川原慎一委員長

それでは、まず議会だより226号についてを議題とします。

議会だより225号までは、ページごとにテーマを設けて作成しておりましたが、別の作成方法についても意見が出たところがございます。

そこで、226号の作成方法について委員の皆様の御意見をお願いしたいと思います。

竹原信一委員

まず、この広報の目的ということを考えていただきたいんですよ。

そして、それ以前に議会の方針。もう決めてあることは、議会基本条例に公平性、透明性を確保し、市民に開かれた議会の実現及び議会への市民参加を推進する。これがもう大前提です。

ですから、この広報、市議会だよりは、議会への市民参加を推進する道具として、その方向で作られなければいけないわけです。

そうしたときに、この、まず市民には、この議会基本条例の存在さえ知らされていない。

議会は、市民参加を推進するというを決めているということもお知らせしていない。

ですから、市民の皆さんはどうやって議会に参加すればいいのか、全く道筋が分からないという状態なんですね。

恐らく議員の皆さんも議会への市民参加を推進するというのが大前提だということは理解されてない方が多いんじゃないかという気がしております。

そして、この1番大事なことをですね、まず最初にお伝えしなきゃいけないし、議長の言葉として。1番大事なことは、小学校の皆さんが見学に来られましたみたいな話じゃなくて、阿久根市議会は市民の皆さんの議会参加を推進します。皆さんが参加する方法はこんな方法で私たちは準備しております。いつでも相談ください。そして、私たちがしたことを御覧くださいと、御意見もくださいというふうに作っていかなくちゃいけないものです。

ところが今回のやつなんかは全く逆で、なってるわけですね。

それで、それともう一つ、議論、議案というものを、中身が何だったのかということを書かないと、何の議論したのかも見えてこないわけですよ。

例えば、議案のところ、議案というかな、委員会は出ました。委員会での議論はぽつと出た、発言が出た、討論が出ました。

討論はまた、本会議のところの別個のところにある。つながりが分からない。

議案ごとに、どんな議案なのか、そして委員会での議論はこうなって、誰がこんな発言したんだ、そして、本会議での議論はこうだったんだ。

そういった流れがないと、議案を理解することができないわけですね。

市民参加ということが不可能なんです、実際の話。ここでこれを見て、参加しているん

だという感覚を持っていただくこと。

私たち議員にも、そして執行部の説明にも抜けがあったり、誤解があったりしたまま進んどったりしましたよ、前回のやつも。

そういったところも指摘されるような、自分たちでも再確認できるようなものにする必要があると思います。

その方法は、まず、大前提として市民の皆さんに基本条例によって私たちが受けます、市民に開かれた議会にします、参加くださいというのを、議長の宣言をしていただく必要があると。

そして、市民の皆さんに参加する方法を提示する必要がある。

それから、議会があったぞと、この議会の内容については、議案の進行内容に沿って、議案の内容と、それから議論の説明に沿って表現する。

それによっていくことが大変大事だと思います。

川原慎一委員長

よろしいですか。

〔竹原信一委員「はい」と呼ぶ〕

今、竹原委員から御意見ございましたので、それについて皆さんお考えございましたら。

白石純一委員

もちろん、竹原委員がおっしゃることは正論であって賛成です。

それを実際どうやって、議会、市議会だよりに落としていくかということ具体的ですね、考えなきゃいけないわけで、それは試行錯誤してやっていくしかないの、これまでやってきたこと、いいことはいいとして、あるいは改善すべきは改善すべきとして、変えていくことも当然必要だと思いますので、まず、議会基本条例について市民があまり知らないんじゃないかということも確かにそうだと思いますので、そこも知らせめることは大事だとは思っています。

大野雅子委員

私も議会基本条例というのが議会の1番の大本だということを思っていますので、それをやっぱり市民に知らせるといのはとても大事で、開かれた議会、みんなと市民も参加してくださいっていうのをうたってあると思うんですね。それを、やっぱりちゃんと皆さんにもう1回知らせるといのはとても大事だと思って聞いていました。

後は、それをどのように使っていくか。どのようにやっていくかは、今、白石委員も言われたように試行錯誤していくしかないのかなと思っております。

川畑二美委員

今、皆さんの意見を聞いて思うことは、竹原議員がおっしゃった、議案ごとの、これは今、私、225号を見てるんですけど、いつ開かれたのかっていうのが、やはり分からない点があるんじゃないかなあっていうのは、ちょっと今、確かにそのとおりだなって。

市民に、ちょっとこういうことで議案があって、報告がこうあったという、少しでも入れていくのは必要じゃないかなって思うんですけど。

ただ、最終的にはもう承認、可決とかいう形じゃなくて、少しちょっとそこに下にでも入れられるスペースがあればいいのかなっていうのを、ちょっと感じております。

開かれた議会を目指していくには、やっぱり、広報の広報紙も少しはやっぱり変わっていかないといけないんじゃないかなと思います。

川原慎一委員長

ちょっと今の御意見に、質問をこちらからさせていただきます。

いつ開かれたかっていうのは、開かれた議会のことを言ってらっしゃいますか。

それとも、期日がいつ開かれたかっていうことでしょうか。

川畑二美委員

そうですね、期日がいつ開かれたっていうのは、あったら分かりやすいのかなっていうのはちょっと思います。

ここに書いてありますよね、9月の6日に本会議があつて、この部分では何、どうい
うのを話し合いをされたのか。で、9月の11日一般質問ではどなたがやったのかっていうの
が分かればもっと分かりやすいのかなっていうのを感じたんですけど、私の感じ方です。

竹原信一委員

今の部分は本当に細部の話なんで、表記をするとき、表記の仕方は後でそれを考えりゃ
いい話で。

〔川畑二美委員「ああそうですか」と呼ぶ〕

今の考えで根幹的な話をしているときにそれを持込んだら。どうかな。

後でそれは考えましょうよ。作るときに日付を入れる場合は何とでもできる話ですから。

〔川畑二美委員「はい、了解です」と呼ぶ〕

高崎良二委員

いいですか、私も竹原議員のおっしゃることを理解できて、そのとおりでなと思います。

議会に市民が参加されるっていう、どうやったら参加してもらえるのかというのを考え
たり、先ほどあった開かれた議会っていうこと、開かれたっていうのは、議会は今何を
やってるか、何を、どこに向かっているかという、そういった議会の内容なんかを市民に広
報するためにも、やっぱり基本的考え方っていうのは、やっぱりこの広報委員会の中でも、
持っていなければいけないっていうのがあると思うんですが、まさにその議会の条例の中
にそのことをうたっている、それをまず基本に持って、この広報紙を一つのツールとして、
市民にどうやって参加をしてもらえるのか、どうやったら理解してもらえるのかというの
を考えながらこの広報紙は作っていかなければならないかなと私も思います。

内容については、多分、今からいろいろ検討していかなければいけない部分がたくさん
あると思うんですが、やっぱり基本的な考え方を忘れずに、今から作っていかなければい
けないなと思っています。

あと一つ、議長が宣言をするっていうことがあったんですが、後でもいいんですけど、
毎回、毎回そこを載せるのか載せないのかというのも、例えば、宣言というか。

〔竹原信一委員「1回目でもいいんじゃないですか。あとは試してみてもいい」と呼ぶ〕

ですね。

私の意見はそういうところですよ。

川原慎一委員長

今、皆さんから御意見が出ました。

開かれた議会を目指すということで、この議会だよりをツールとして使うという部分
については、皆さんの御意見は一致しているのではないかと感じました。

また、議長からの宣言ということで載せるべきではないかという御意見もございました。

ここに関しては、それぞれのお考え、そこまで発言なさっていらっしゃらない方もい

らっしゃいますが、そこをまずどうするかっていうことですね。

竹原信一委員

まず議長と一緒に話をしなきゃいけないかもしれない。

まず、ここだけで話して、それを出しなさいよじゃなしに、議会全体のことで影響することです。

川原慎一委員長

議長の宣言ということになれば、もちろん最初に議長に作っていただくということが前提になると思いますので、そこは私たち委員会としての総意をお伝えして、そこに議長としての宣言を作っていただくという形が、私は普通ではないかなと。

白石純一委員

私は、宣言ということがきついかもわからないが、議会基本条例というのが既にあると。

実は私が議員になった8～9年前以前にも作られていたわけなんですけれども、それを私の議会議員の中で、広報、議会だよりで詳しくお知らせしたということは確かになかったの、あるいはその作られたときには紹介されたのかもしれないけれども、それはもう、10年近く前のことだと思いますので、改めてこういう基本条例があるんですよという事は、市民にお知らせする必要があるし、それを議員が再認識するためにも、それは、紹介するのはいいことだと思うんです。

宣言というとなんか、急に新たに改めて何かという感じがするので。

〔竹原信一委員「それぐらい」と呼ぶ〕

川畑二美委員

私も今ちょっと白石議員のお話を聞いてて、宣言ってせずに、前からこういうのがあるんだっていうので知らせるっていうことで、いいんじゃないかなあって思うんですけど、そんな、表立って、はい、と思います。

竹原信一委員

その部分にこだわるというか、実はですね、先ほどから申し上げておりますように、議会への市民参加ということが、全く私たちが、議会が無視してきたというか、むしろハードルを作ってきたような感じがあって、どうぞ、改めて、議会が、来てください、いつでも皆さんの御意見は政策提言だと私たちは認識していますよという言葉もやっぱり言わなきゃいけない。

ところが、今までの議会の対応はそうじゃなかったですよ。

私たちは変わりましたっていうぐらいの表現でしないといけんと思いますよ。まあ、そこは表現はなんとするにしても。

川原慎一委員

今、5人から御意見等ございました。これを宣言っていうのは非常に重いのではないかなという御意見ございましたので、議会だよりを通して、市民参加を、皆さん市民が参加していただく議会を作っていきますよというような内容の挨拶文というか、そういったものを議長に作っていただくということで、今回は1ページ目を作っていくという形ではいかがでしょうか。そこを議長にお願いするという事。

高崎良二委員

お知らせ、示すっていう意味では、議長のそういった文章も大事なのもかもしれないと思うんですが、やっぱり議長に書いてもらってなるとかしこまって書いてもらうことにな

る。議長もやっぱりそれなりの文章で書かないといけない。そうなってくると内容がかしまわってしまっていて、本当に、その市民がそこに目が行くのかというのが、ちょっと気になります。

それよりも、もう広報広聴委員会の中で、1面使って、私たちはこうですよっていうのをば、何かこう、何ていうかな、もうちょっと柔らかい感じで、市民に伝えるという方法が、私はいいと思うんですけど。

竹原信一委員

取りあえず中身の文章の表現の方法については検討するのは当然ですから、そこんところを、私どもが作るか、議長が作るかという話を今しなくてもいいんじゃないかな。

どっちみち、どっちが、一緒に作って、もう検討して、最終的な仕上がりは立派なものにしなきゃいけないわけですから。

川畑二美委員

私は、今、高崎委員が言った意見に、そのほうがいいかなって思いました。やっぱり、優しく、みんな考えて作った文章というのは、市民に結構分かりやすいんですね。

〔竹原信一委員「いや、そういうことはあまり思っていないよ」と呼ぶ〕

やっぱりですね、市民に分かりやすい広報紙でないと。市民がやっぱり見て、こういうことを制作して、こういうっていうのはやっぱり大事じゃないかなって私は思う。

〔竹原信一委員「そこの話、ずれていってるよね」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

ちょっと暫時休憩します。

(休憩 午前10時15分～午前10時24分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

今、竹原委員からの御提案からございました開かれた議会をどういうふうに市民に知っていただけるかっていう方法について、委員会としての総意として、今、開かれた議会を作るために、この議会だよりを使っていきたいということで、議長に提案して、御協力をいただき、こういった形で、どういうふうに作ってほしいということは、またこれから話し合いをしながら、広報広聴委員会と議長と作っていくということで、今回はよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、異議なしと認め、開かれた議会の持って行き方については、これで決めたいというふうに考えます。

今回、225号で、一般質問に関しては、ほとんど問題なくいけたと思います。

まず、表紙の写真。これは回りきりましたので、次、表紙の写真を担当していただく方も、あと3回なので、もう全員に回るということございませんので、写真と表紙をやりたいという御希望の方がいると、もうその方に今回お願いしたいと思いますが、いかがですか。

〔白石純一委員「その前にちょっといいですか」と呼ぶ〕

白石純一委員

写真の表紙なんですけども、今回はこういう、全員の踊り。

私は2点、ちょっと論点にしたいんだけど、一つ目は、今回たまたまっっちゃうか、こっち、市報もお祭りでしたよね。

私が委員長してたときは、それは、いい悪いは別にして、市報とテーマがかぶらないように市の広報に聞いて、かぶらないようにあえてしてたんですけど、そういう、かぶってもいいと、あえていいということで今後進めるのか、あるいは、やっぱりかぶらないようにしようねということを用意統一、その回その回でもいいと思うんですけども、考える一つのテーマかなと思ってます。

もう一つは、これも今までも何回も議論になったりしてたんですけど、今までどちらかという、景色が多かったですよね。だから、阿久根の例えば、余り知られてない景色とかを一つのテーマとして決めるのか、あるいは、こういう人が出てるイベントにも焦点を当ててるのか。その辺りもテーマとして一つの統一したものにするのか、あるいは、その回その回ごとに変えてもいいのかその辺りも。

竹原信一委員

あんまり決め込まなくていいんじゃないかな。

発想が、表紙がですね、独創的であったほうが非常に面白いわけですよ。ほんで、形がいつも決まってくると、もうあれかみたいな感じになっちゃうんで、そんなの決めずに、何、どっちかといえば、この中身に沿った、あったようなものができりゃいいかもしれんと思うんですよ。

季節的なものとか関係なしに、目的が市民参加ですから、議会の市民参加ですから、それに合うようなのがありさえすれば何でもいいかもしれない。

今回は特に、次回というか、そしたら、何だっけ。委員長が気になってくる。

川原慎一委員長

今までの、今回は一緒になってますけど、広報担当に、その都度確認は、実はずっと、私が委員長になってからはしております。

なるべく重ならないような努力というか、前もってどういう予定でいってるっていうのは、広報には聞いておまして、とにかく、なるべく重ならないような努力はしております。

今御意見ございましたけれども、一つのテーマを決めてやっていくのがいいのか、それとも自由度を設けてやっていくのがいいのかっていう御意見。

川畑二美委員

私は、それぞれで、それぞれの議員の個性も出るわけですから、それぞれの写真でいいと思います。

テーマも決めた、そんなテーマを決めたりとかせずに、その人の個性っていうのが、やっぱりこの写真に出てくるんじゃないかなと思うんです。

竹原信一委員

議員の個性なんか出しちゃいかんでしょ、そこは。

〔川畑二美委員「山を撮る人もいたり、海を撮る人もいたり」と呼ぶ〕

何を言ってるんだ。この表紙っていうのは、議員の個性を出すようなところじゃないんだ。

〔川畑二美委員「それは決めつけなくていいと思います」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

まあ、それぞれの御意見として。

白石純一委員

テーマをって言ってるのはですね、皆さんよく雑誌を思い浮かべると、大体雑誌の表紙ってというのは似たようなトーンとか、似たようなイラストだったらイラスト、風景だったら風景、人だったら人という、大体テーマを設けて雑誌の表紙というのは。それを、読者は、もうこの表紙を見ただけで、こういう雑誌だなんていうのが分かるというのがあって多分統一される。

じゃあ、市議会だよりもそれが要らないというんだったら、それぞれの回で人だったり、山だとか自然だったりっていうのを統一しなくてもいいという考えも、もちろんそれはあると思います。

竹原信一委員

中身が、今回、最初からいろいろ出てきますんで、例えばですよ、議長の顔をアップでも構わないし、あるいは、私は、こう、議会をこんなふうに変えますというような姿でもいいしね。

そんなんでもいいんだから、取りあえず、今、決め込まずに、後でもいいんじゃない。

川原慎一委員長

ちょっと、決めてしまうと、撮る人は、やっぱり、結構みんな御苦労されたと思うんですよ。皆さん、どけ行こかいとか、何を撮ろかいとかっていうのは、いろいろ。大野委員も苦労しましたよね。

なかなかぎりぎりまでね、あつたりもしたので、自由に作っていいと思うんですが、出水とか長島の写真撮ったらまずいですので、やはり、阿久根に限定して、何かこう、人を撮るにしてもですね、ちゃんと許しをもらって、こういう形でこういうふうにしたいということまで含めて、いろんなところに、しっかり許可をとってするものであれば、私は別にいいと思うし、そこは、それぞれ撮る方にお任せするというのでいいと思いますけどね。

個人の主観が入るのはちょっと私もどうかなと思います。そこは、どうでしょうか。

高崎良二委員

今言われた委員長の意見で、僕もいいと思います。

もうちょっと、あんまり決めてしまうと、本当に写真の撮る場所とか、ものとかが狭まってしまって、撮る方は非常に苦労すると思うんですよ。だから、もう最初で決め付けずに、まず撮ってきて、その中で、やっぱりその委員会の中で、これはまずいよとか、そういうのは、みんな協議をできるので、やっぱり、ある程度自由度を持った写真の撮り方というのは、いいと思うんですけど。

竹原信一委員

写真でなきゃいかんこともないと思いますけど。どっかほかの市議会のそういうのをやってたりするじゃないですか。

大事なことは中身をお伝えすることありますから、その景色を載せるとか、そんな話じゃなくて、中身をどんどんアピールできるようなものが、表紙の画になったりするほうがいいかもしれないので、そこは今後、中身を作っていく中で、過程で検討してもよろし

いんじゃないでしょうか。

誰かにあてがって作ってこいっていうんじゃないくて。

大野雅子委員

今、竹原委員の話聞いて、いい考えだと思いましたが、それってことは、また、表紙を作りますよという時間を1日とるっていうか、その時間をとるっていうこと。

竹原信一委員

いやそういうことじゃないですよ。今、中身がこんな詰まってきました、どうしましよかって。もう、どうにもできなければ、写真撮りに誰かが行くというだけの話で、どうでもいいような話ですよそこは。考えなんか必要ないわけですよ、そこは。

でも、中身を表現しやすい、ぱっと見たとき、今回は違うなっていうのを出すときには、絵になるかもしれないし、議長の顔になるかもしれないしっていうことがあるじゃないですか。

だから、今、写真を撮ってくるって決めこまなくてもいいんじゃないかなと。

大野雅子委員

ということは、今回の表紙はどうしますかっていう時間を1回とるということですね。

〔竹原信一委員「えっと、それじゃあどうしようか」と呼ぶ〕

担当者を決めるっていうわけじゃないですよ。

〔竹原信一委員「まあまあ、その中で、後で」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

担当者は、決めたほうが私はいいと思いますけど。

〔竹原信一委員「じゃあ私がします」と呼ぶ〕

休憩に入ります。

(休憩 午前10時36分～午前10時37分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

今回、表紙の担当は竹原委員にお願いをいたします。

編集後記ですけれども、昨年の6月の議会のときの1番、この中の最初の編集後記、私だったんですけど、この委員で作る1番最後に、私、編集後記をしたいと思っていて、ありがたいも込めてですね、1番最後だから。3回、あとだから来年の、最後の3月の第1回定例会の時の編集後記をしたいと思いますので、誰か。

〔竹原信一委員「最後、あと残り2回」と呼ぶ〕

です。だからあと2回です。

〔竹原信一委員「じゃあ、私もお願いしたい。最後から2回目」と呼ぶ〕

〔白石純一委員「いや私と竹原さんはもう広報委員を長くて、何回も書いてるから、以外の人で」と呼ぶ〕

〔竹原信一委員「ぜひやらせてください」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「じゃあはい、はい、はい」と呼ぶ〕

共産党ですとかはだめですよ。

〔竹原信一委員「そう、あれが一番よくない。自分の宣伝するのは」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「宣伝はしてないよ。宣伝はしてないけど」と呼ぶ〕

〔発言する者あり〕

ごめんなさい。休憩中じゃございませんでした。

それでは、編集後記、川畑委員、大丈夫でしょうか。

〔川畑二美委員「はい、大丈夫です」と呼ぶ〕

じゃあ、編集後記は川畑委員に書いていただきます。

あと、委員会報告です。

委員会報告、今回は、まだ今のところ、陳情・請願は上がってないんですので、それぞれの議案に対する付託された委員会の活動。あと、議運がこの前調査に行ってますので、そこの報告が入るかな。

全部締めた後かな、今回は。今回、行ったということだけで。

〔発言する者あり〕

休憩入ります。

(休憩 午前10時40分～午前10時40分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

この前の委員会報告の作成に当たって、いろいろトラブルもありました。そこを含めて考えますと、いろんな御意見ある中でもございましたけど、委員会の中でもありましたが、委員会報告に関しては、本会議で委員長が御報告をされます。それについてを、もうこちらでまとめて委員会報告として、広報広聴委員会で作るのがいいのではないかという御意見もこの中で出ておりますが、これに対して皆さん方の御意見をちょうだいしたいと思います。

竹原信一委員

先ほども申し上げましたけれど、議案をまず説明しなきゃいけない。そして、委員会があつて、本会議の議論もあつて、ひとつつながりで表現しないと市民は理解できないというか、そういうことがありますので、やっぱり、広報委員長あるいは事務局でまとめて作った感じが一番いいと思いますよ。

川原慎一委員長

広報広聴委員長。

竹原信一委員

そうそう、委員長、事務局で、その基のやつがあるわけで、先ほど言われたとおり、それを基に作っていくのがいいと思います。

〔川畑二美委員「それは本会議の、今言われた中でおっしゃってたんですか」と呼ぶ〕

いや委員会報告、委員長報告。例えば。

川原慎一委員長

ちょっと待ってください。今、委員会中ですから。

川畑二美委員

だから、今おっしゃったですね、委員長が。

本会議のところで、結局、委員長報告がありますよね。その報告があつたのを載せるっ

ていうことをおっしゃったんですよね。だから、それを竹原議員は、委員長と事務局にお任せしたらっていうことをおっしゃってるんでしょうかってお聞きしてるわけですよ。

竹原信一委員

まあ、大体そんな感じですね。

川原慎一委員長

ちょっと休憩に入ります

(休憩 午前10時43分～午前11時6分)

川原慎一委員長

それでは休憩に引き続き、委員会を再開します。

委員会報告の件についてですが、本会議における委員会報告の中から、聞いた中で、それを委員会報告欄には載せると。それぞれの委員長に広報広聴委員長から、それぞれの3委員長には委員会というふうな活発な議論があったか。また、委員会における中での、熱くここは市民に分かるように載せてほしいということの取材を広報広聴委員長でやって、それを誌面に反映させていくという形で、今、話合いがなされましたが。

竹原信一委員

先ほど、委員会の会議録を見なきゃいけないという話もしましたよね。それで、大事なことを本会議で、必ずしも言われるとは限らないわけで、そういったところも含めて、市民の目線で、市民にとってどういったものが大事かというのは、やっぱり見て書かれるべきで、本会議の委員長報告で言われたものからだけ載せるんじゃないということをお願いしたいと思うね。

そして、例えば、前回あったこともそうなんですけど、議会で執行部の説明も間違ったり、議員も理解を間違ったりすることがあるわけですよ。しかし、その市議会だよりには、それが、間違ったのが載っちゃいかんわけで、時には執行部に取材して、あの意味はどうだったのかということもせないかん。やって初めてまともな文章になるんで、大変だけでも、そこまで含めて、委員会の報告はされる必要があると思います。

川原慎一委員長

委員会の会議録も含め、本会議でなされた委員会報告、その照らし合わせもし、また、そこを含めて、各委員長と広報委員長が話し合っ、載せるべきところをしっかりと精査して載せていくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

白石純一委員

基本の方針はそれでいいと思うんですが、今回の委員会報告で、質疑、答弁は、常任委員会は1件ずつ、予算委員会は5件、これ実際の質疑、答弁の多分5分の1、10分の1ぐらいの項目なんですよ。

ですから、ここが、あえて1つにしようとして前回の広報広聴委員会で言ったのは、やはりこう、市民、読者により集中して、ここで1番大事なのはこういうQ&Aだったんですよということをいかに、何を捨てて何を出せるかっていうのをやはり簡潔にピックアップす

るというのは必要で、余りだらだらならないようにというのは大事かなと思います。

川原慎一委員長

分かりました。その誌面はしっかり考えていきたいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、委員会報告については以上のような形で、御異議なしということで進めたいと思います。

あとの総括に関してと、一般質問、あと表決、最後のページに関しては、また次回の委員会で台割表をお作りして、あと、日程も含め皆さん方に御提示したいと思いますので、次の委員会で協議したいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

1時間たちましたので、休憩します。

(休憩 午前11時11分～午前11時19分)

○ 議員と語る会について

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

次に、議員と語る会について。

白石純一委員

ちょっと休憩に入ってもらっていいですか。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前11時19分～午前11時22分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

次の議員と語る会についてを議題といたします。

今年度、議員と語る会について協議するため、ここで一旦休憩して皆様の意見を伺い、調整したいと思います。

それでは暫時休憩します。

(休憩 午前11時22分～午前11時44分)

川原慎一委員長

休憩に引き続き、委員会を再開します。

今、議員と語る会に関しては、やるべきであるということで一致していると思います。

開催についてですが、秋、10月か11月に、10月はちょっと難しいと思いますが、11月ぐらいに1回、そして年が明けて、その11月を見て、また、どういったところと、どういう

ふうに語る会をしていくかというのを決めて、また年が明けてやるという形を、という御意見ですが、それに対しては。

〔「それでいいです」と呼ぶ者あり〕

異議なしということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、秋に1回、冬に開催するというので。

白石純一委員

その1回ってというのが、1日なのか、あるいは幾つか会場を分けてというのが。というのが、今まで、そのコロナ前までは、市内で9か所ですか。3班に分かれて、12か所やってたけど、それも含めて1回ということにするのか、もう1日ということなのか、その辺りはどうなのでしょう。

〔竹原信一委員「それは次の段階で」と呼ぶ〕

竹原信一委員

取りあえず、その次の段階でいいんじゃないですか、その何日に分けるかというのは。秋に1セットでもいいですよ。

それで、年明けても。

〔白石純一委員「それはもちろん」と呼ぶ〕

それでいいんじゃない。中身については今から詰める話だから。

川原慎一委員長

それでは、秋開催と冬開催。

内容に関しては、これから話し合っていくということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○ 議会広報研修会について

川原慎一委員長

次に、議会広報研修会についてを議題とします。

先ほど、休憩中に申しましたが、11月に、皆さん方の資料にもございますが、今日、広報広聴委員会の8月21日の中の議会広報研修会資料、11月7日、午後1時から。昨年行った自治会館でございましたが、昨年行ったものと内容的には一緒のものでございますが、これに出席するかどうかについての御意見を伺いたいと思います。

竹原信一委員

前回は大変よかったので、出席してよろしいんじゃないかと。

これやれば、もうどっかの、なんだっけ、所管事務調査で見に行かなくてもいいかもっちゅうぐらい中身があると思う。

白石純一委員

私も参加したほうがいいと思います。

これでいいのは、できるだけ多く、いろんな自治体の議会だよりが見れて手に入ることが大きなメリットだと思いますので。

ただ、研修というのは、よその議会に行ってみたいと私が申したのは、その進め方、記事の書き方とか、進め方については、この11月7日の研修で分からないので、その辺りもという点でした。

そして、それを補足する意味で言えば、出かけていって行く余裕とかお金が確かにない

というのであればですね、実はこういう研修もやりました。

南日本新聞社の阿久根支局長を。

〔竹原信一委員「これの件で。これに出るか出ないか」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

まず、これの件に出席かだけ。

白石純一委員

出席したほうがいいと思います。

川原慎一委員長

ほかに。

今お二人から出席でいいのではないかという御意見でございましたが、欠席というか、行っごんいらん、行く必要ないんじゃないかという御意見ございますか。

今、出にくいような言い方しましたけど。

大野雅子委員

私も出席でいいと思います。

前回大変勉強になりました。

川原慎一委員長

11月7日、議会広報研修会については、参加ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、出席するというので決定いたしたいと思います。

〔発言する者あり〕

暫時休憩に入ります

(休憩 午前11時49分～午前11時50分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

11月7日は出席ということで決定しますが、委員派遣ですね。欠席は駄目ですよ。

○ その他

川原慎一委員長

それでは、その他に入ります。

先ほど、白石委員が途中までお話しされてた内容を。

白石純一委員

研修というか、我々の勉強の一環として、こういうことをやりました。

南日本新聞社阿久根支局長をお呼びして、広報紙の記事の書き方とか、写真の使い方とか、タイトルのつけ方とか、そういったことだったと思います。もう大分前でしたけど、もう7～8年前かな、だったと思いますけど、1時間、1時間半。で、これは一般質問の記事は皆さん書かれるので、広報委員に限らず、ほかの方にも参加御希望でしたらどうぞというお声掛けをしていたかと思ひます。そういうやり方もあるのかなと思ひます。

川原慎一委員長

今、白石委員から御意見ございましたが。

川畑二美委員

今のお話を聞いてて、前やられたってことですよね。

成果はどうだったんですか。皆さん参加。

白石純一委員

それ、参加、広報委員以外がどれぐらい参加したかはちょっと記憶にないんですけども、もちろん、記事を書くプロですので、それなりに、勉強するところはあったと記憶しています。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前11時53分～午後0時1分)

川原慎一委員長

休憩に引き続き、委員会を再開します。

今、白石委員から御意見いただいた研修に関しては、またちょっと、前回のものも含めていろいろ精査して、また皆さん方に御提示したい、皆さん方の御意見をまた伺いたいと思いますので、次の委員会で議題に上げたいと考えておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議ございませんので、今日の広報広聴委員会を散会いたします。

(散会 午後0時1分)

広報広聴委員会委員長 川 原 慎 一